

今年も 半分が過ぎました！

4月にスタートした平成23年度も4ヶ月目に入りました。1年生も桐ヶ丘中学校の生活にすっかり慣れてきたことでしょう。運動部は夏季大会の終了とともに、新チーム（1，2年生）に編成替えが行われています。

しかし、あらためて今年に目を向けてみると、平成23年も折り返し地点を過ぎました。月日が経つのは本当に早いものです。

「あっという間に夏休みが終わってしまう。」「あっという間に今年が終わってしまう。」

「あっという間に今年度が終わってしまう。」「あっという間に中学校3年間が終わってしまう。」

一日一日を大切に、今できることに精一杯取り組みましょう。 『夢は叶う！』

中学生の皆さんには、『自分の夢を叶えるために努力できる時間』がたくさんあります。 うらやましい・・・

平和を考える会

七月一日（金）

桐ヶ丘中学校の体育館に、与那覇百子さん（とらな びやくこ）を講師にお招きして、「戦争体験を語り継ぐ会」を開催しました。

当日は、ファミリー校の小学生百五十名も来校し、桐中一年生百三十名、保護者・来賓・地域の皆様百二十名、総勢四百名もの、文字通り熱気にあふれた体育館となりました。教育長の伊与部先生にもご来校いただき、たくさんの方たちと貴重な時間を共有することができました。

与那覇さんは、元ひめゆり学徒隊の生き証人として、全国で講演活動を行っています。

「ひめゆり学徒隊」は、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒により結成されました。主に病院壕で看護などにあたっていました。当然皆、十六・七の少女です。

兵隊さんとはと異なり、先生や先輩を目の前で亡くし、毎日が死と隣り合わせであったご自身の辛く悲しい経験を、私たちに話してくださいました。

亡くなった多くの方の無念を知るとともに、戦争の悲惨さ、決して繰り返してはならない事実を、痛いほど感じることできました。

与那覇さんは私たちに、人を思う心の大切さや、前を向いて生きていくことの大切さを教えてくださいました。



「生徒の感想より 一年四組」

○ 今回、私は与那覇さんのお話を聞いて改めて戦争のむごさを感じました。今まで原爆を体験した方のお話などは聞いたことがありますが、ひめゆり学徒の方のお話を聞いたのは初めてで、本当に怖いと感じました。爆弾のお話など映像が頭の中に浮かんで来て、自分が与那覇さんだったら、怖くてたまらなかつただろうなと思いました。与那覇さんにしていただいたお話をお話をお話のようにしようと思いました。

○ 戦争のとき、沖縄で唯一陸上戦が行われ、多大な被害があったことも、ひめゆり隊のことも知っていませんでした。しかし、どのような感じかは知りませんでした。与那覇さんの話を聞いて、戦争は民間人も武器を持つていない人も巻き込んでしまうものだと思えて分かりました。



※ 六月二十三日は、十万人におよぶ住民が犠牲になった沖縄戦が終結した日「慰霊の日」でした。六月二十二日付けの読売新聞には、ひめゆり学徒隊の生存者である別の方の記事も掲載されていました。

道徳授業 地区公開講座

七月二日（土）

今年度三回目の「土曜日授業」

一校時は教科の授業、二校時は全学級において「道徳」の授業公開を行いました。

地域・保護者の皆様には、連日ご参観いただき、誠にありがとうございました。

学年成人委員さんの声かけもあり、二百名以上の保護者の方が来校されました。

道徳の授業後は、各学級において「道徳協議会」及び「学級懇談会」が開かれました。時折、笑い声が聞こえるクラスもあり、和やかな雰囲気で行われることができました。



※「小学校と土曜日の行事が重なって困る。」という声もいただいています。ファミリー校で話し合い、調整できればと考えます。はたして兄弟で土曜日に学校がある場合、同じ日がいいのか違う日がいいのか、多くの方のご意見をお聞かせください。

非行のない明るい街づくり住民大会 — 少年の健全育成をめざす親と子の集い —

七月四日（月）に、赤羽会館大ホールにおいて、第二十八回「非行のない明るい街づくり住民大会」（通称 非明協住民大会）が開催されました。この会は、「赤羽地区の安全を守る」ために、「警察と地域・学校が協力しよう」という会です。桐ヶ丘中学校からは、二年一組の生徒諸君が参加しました。

各校の代表者が意見発表を行いました。落着いて堂々としていて、神田さん（二年一組）を含めて、皆立派な発表でした。

「私たちにできること」

私は、社会を明るくするためにできることは、挨拶することと掃除をすることだと思っています。まず、挨拶についてです。

それは、挨拶をされたら良い気持ちになると思っています。朝気分がすぐれない日に、友だちに元氣よく「おはよう」と言われたとき、私は元氣になりました。

そして、挨拶をした方も、良い気持ちになるからです。私が挨拶をしたときに友だちも挨拶を返してくれて、挨拶をして良かったなと思いました。

このようにことから、挨拶をする方もされる方も、お互いに明るい気持ちになります。そして、その輪を広げることによって、社会が明るくなると思います。

私は生徒会役員として活動しています。桐ヶ丘中学校では、朝の挨拶運動という活動を生徒会を中心にやっていきます。最初は挨拶を返してくれる人は少なかったけれど、この活動を続けていくうちに、だんだんと挨拶を返してくれる人が増えてきています。現在では、学級委員も協力してくれています。これからもこの活動を続けていき、挨拶の輪を広げていきたいです。

次に掃除についてです。一つの理由は、掃除をすることで身も心もスッキリすると思ったからです。私は学校の大掃除をしたときに、一生懸命にやって最後に見渡したら、とてもスッキリした気分になりました。掃除をして良かったなと思いました。

さらに、掃除をすることで、環境が良くなり、社会も明るくなるのではないかと考えたからです。私たちは、朝ボランティアという掃除をする活動をしています。生徒会を中心に学校の周りを掃除しています。呼びかけていった結果、今では約三十人ぐらいの生徒たちが朝ボランティアに参加してくれています。最近では、学校付近の公園を明るくするために花壇の植え替え作業も行いました。この作業を行って地域の方々に喜んでもらえました。掃除は、地域の方々との交流も深め、

犯罪も減り、明るい社会が近づくといいと思います。また、犯罪者はきれいな公園は好みません。なので、これらのことから、挨拶や掃除をすることによって、地域の方々との交流も増えます。

社会を明るくするために私たちができること。それは、多くの人と交流し合うことです。そのために、挨拶や掃除をすることが大切だと私は思います。



桐ヶ丘中学校代表 二年一組 神田真琴

